※プログラム内容に関する問い合わせ先：【TEL】03 (3434) 1955　【e-mail】kaisou@jma.or.jp

【2日間】　新価値を創造し続けるためのマネジメント力で、企業価値向上を実現する

13 アドバンスコース
問題・課題解決力

講師 船橋 正美 JMA専任講師

定員 24名（1開催1社4名まで） 開催場所により定員数が異なる場合があります。

詳細は JMA 150824 検索

部長のための 未来洞察と シナリオ・プランニングセミナー

このような方におすすめです

- 部長職の方で部門運営能力に磨きをかけたい方
- 部門内の課題解決の仕組みの構築・提案する力を学びたい方

ねらい

「創造し続ける組織・事業づくり」を担う部長職が直面する5つの課題の深耕と対応策を集中的に研究します。

新任部長とは異なり、部長経験の長さにより部門運営の経験値に基づき必要とされる資質や能力の向上が求められます。

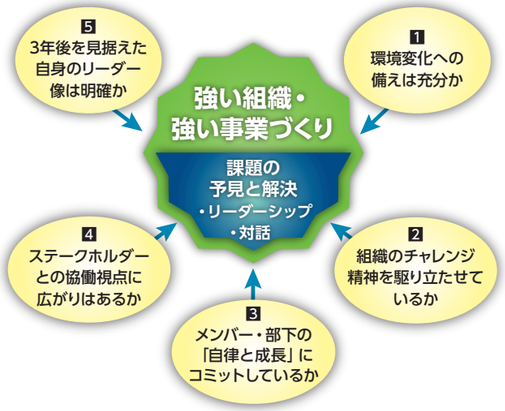
マネジメントモデルを習得し、現在の部門運営における「課題を発見・整理する力」や「課題解決の仕組みの構築・提案する力」を養い、あらたなマネジメント能力向上を醸成します。

特長Ⅰ

5つの視点から 未来の強い組織・強い事業を考える

5つの視点から強い組織・強い事業づくりに必要な能力を強化します。

部長職が直面する5つの課題



会期・開催形態（会場）

2026年10月27日（火）～28日（水）※会場（東京）
※2日間通学型に変更いたしました。

開催時間

【2日間とも】9:30～17:30

参加料（税込）

日本能率協会法人会員	114,400円／1名
上記会員外	126,500円／1名

※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。
※参加料にはテキスト（資料）費が含まれております。
※昼食の提供はございません。（各自でご用意ください）

特長Ⅱ

プログラムの約40%が講義、60%がケース研究・ワークショップ

他社の部長職以上の方々とのワークショップにて、相互啓発、研鑽により座学だけでは得られない刺激を受け、異なる発想に触れます。同じ社会現象、ビジネス現象をどう解釈するのか。時代・社会の潮流を読み解き、視野を拡大します。



特長Ⅲ

研修のまとめシートによる意識・決意の定着化

受講者が、5つの視点毎に、「内省」や「気づき」を記入し、意識の定着化を図ります。

また、「『これだけは実行する』との決意と計画」を描き見える化し、視座も高めます。

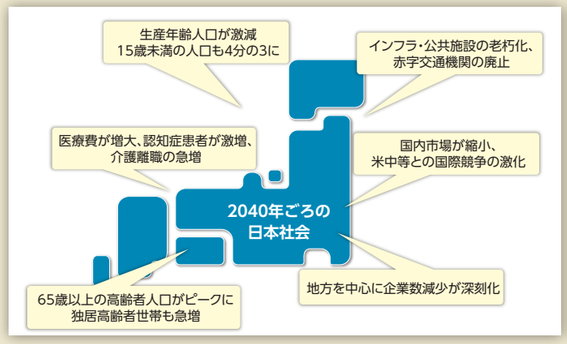
人事担当役員・社長への回覧をおすすめします。

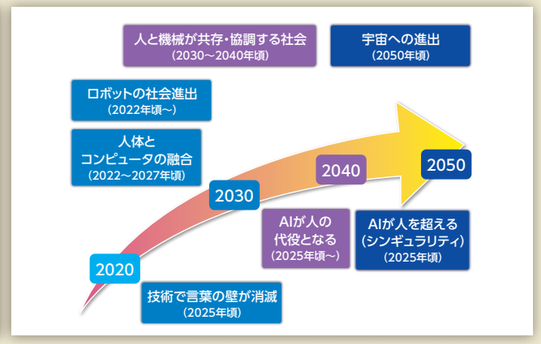


ふり返りシート

※申込みに関する問い合わせ先：【TEL】03 (3434) 6271　【e-mail】seminar@jma.or.jp

― 急激に変わり続ける未来 ― 2040 年頃の日本社会 / テクノロジーの今後の見通し





※〈出典〉総務省資料：情報通信審議会 情報通信政策部会 IoT新時代の未来づくり検討委員会

自社の業界・顧客だけを見ていませんか？

これからの時代の変化を、政策、経済、社会、技術、社会課題、価値観の変化などから定量的・定性的に把握し、分析し自社の企業価値を高める一手を探ります。

プログラム

<休憩時間 12:00～13:00(予定)>

1日目

9:30～17:30

1 環境変化への備えは充分か（未来の洞察）
1）マクロ～業界～当社～担当領域
2）企業経営と社会課題の連動性
3）「個の成長・組織の活性化・組織の社会性」を考える

2 組織のチャレンジ精神を駆り立たせているか
1）ミッション・ビジョンの共有化と目標・計画の浸透をいかに進めるか
ケース研究【未来から課題を洞察する ～シナリオ・プランニング】
2）知的機動力を備えた組織を支える仕組みは充分か
知見交流【知的機動力を高める5つの基盤】
3）働き方改革を実践化する意識・業務改革に遅れはないか

3 メンバー・部下の「自律と成長」にコミットしているか
1）事業や部門の使命・成果・計画の重要性
2）課長の役割・使命は明確か
3）課長・チームメンバーは成長と成果への実感をもっているか
ケース研究【部下の成長を意図したコーチング】

2日目

9:30～17:30

4 ステークホルダーとの協働視点に広がりはあるか
1）社会課題解決と事業・業務の関連性を意識できるか
2）メタ・プロジェクトの視点からの事業・業務変革

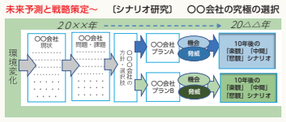
5 3年後を見据えた自身のリーダー像は明確か
1）リーダーシップタイプ
2）マネジメントスタイル
3）研磨すべき資質・能力と受容・発信
知見交流【環境変化の認識とアクションプラン】



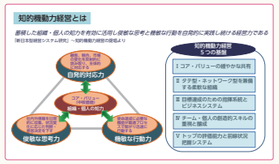
◆ 総括～課題対応の重要度と優先度は明確か
研修のまとめシートの作成
後日、講師からのコメントを一人ひとり記入して返却いたします。

討議テーマ

マクロ環境動向、自社、担当事業・業務の課題を当事者としてどう受け止めるか。また、自社事業と社会課題との関連性なども検討します。



俊敏な思考と機敏な行動を自発的に実践し続ける「知的機動力経営5つの視点」を題材に、自社、担当業務領域で強化すべき仕組みやマネジメントの視点を考察、討議します。



メンバー・部下の「自律性と成長」を引き出し、醸成する組織づくりに必要な視点を再認識するとともに、自ら働きかけるべき行動計画を参加者間の経験交流も通じて検討します。

自社、担当事業・業務について、敢てスコープを広げ、社会課題との関係性や関係者との新しい協働視点の可能性について研究します。

環境変化、自社、担当事業・業務の広がりを意識しつつ、今後の自身のリーダーシップのあり方を研究するとともに、具体的な意識・行動シナリオを重要度・優先度も含めて検討します。

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。